

新しくなる公園にワクワク！ 子どもたちの笑顔がさらに増える

平成24年度から行われている公園のリニューアル事業。
27年度はみどり第1公園を実施。

「武里みどり住宅地自治会」の田中あんずさんは、
リニューアル済みの藤塚第3公園を訪問した。



「こんなにピカピカの遊具がある公園になるんですね」

と目を細める田中あんずさん。一緒に来た子どもたちも元気に走り回る。

市では平成24年度から「子育てふれあい公園リニューアル事業」を開始。市内の公園を毎年2カ所程度リニューアルしている。公園の老朽化した遊具や休養施設を更新するとともに、出入り口や、園路などをバリアフリー化し、子どもから高齢者までの幅広い世代が一緒にふれあえる公園を目指す。事前に地域住民にヒアリングし、その声をリニューアルに活かしているのも、これまでにない特徴的な取り組みだ。

27年度はみどり第1公園をリニューアルする。武里みどり住宅地自治会の田中さんは、市の公園緑地課森田主査とともに、リニューアル済みの藤塚第3公園を訪れ、近隣のお母さんたちの声に耳を傾けた。

「樹木が整理されて公園が明るくなって安全になった」「砂場にカバーができて衛生的になったから安心」「小さい子どもの遊具ができてうれしい」

藤塚第3公園のリニューアルに、お母さんたちは大満足だ。森田主査は、



意見交換会で「今日の意見を活かしてよりよい公園を作ってほしい」と自ら撮影した写真をもとに説明する武里みどり住宅地自治会・新貴茂会長。



kasukabe PROJECT:01

子育てふれあい公園リニューアル事業

平成24年度から開始。市内の公園は、急速な人口増加と市街地の拡大に対応して整備されたものが多く、20年以上経過し、老朽化も進行。また、地域住民の高齢化や少子化などによるライフスタイルの多様化に伴い、公園に対するニーズが変化していることから、これまでの公園機能を見直し、住民のニーズに合わせた整備を進めている。



写真左から

酒井明美さん 春日部在住歴8年
溝口 菜(しおり)ちゃん
酒井俐緒(りお)ちゃん
(前列)
田中沙季(さき)ちゃん
田中心望(こころ)ちゃん
田中あんずさん 春日部在住歴8年
(後列)
橘 美和さん 春日部在住歴10年
溝口正美さん 春日部在住歴10年
橘 侑希(ゆうき)ちゃん
(右ページ)
岡田明子さん 春日部在住歴11年
生方直美さん 春日部在住歴3年
生方快音(かいと)ちゃん
岡田 葵(あおい)ちゃん
生方桃歌(ももか)ちゃん

「こうして皆さんが喜んでくださるのがやりがいです」とうれしそう。

新しい公園で、まちのいろいろな人とふれあいたい

5月18日、武里みどり住宅地自治会では、市の主催による2回目の意見交換会が行われた。

自治会からの参加者は、公園の近隣住民や子ども会の役員など総勢30名ほど。

どうすれば地域住民全員にとって使いやすい公園になるか、田中さんをはじめとする子育て世代も高齢の人たちも、積極的に発言。多くの意見が出た。意見交換会の終了後、参加者の両角實^{みゆずみ}さんは、

「市に何もかも任せるのではなく、できることは自分たちでやる。自分たちのまちですから。そうやって公園もまちもよくしていきたい」と語った。

みどり第1公園のリニューアル完成予定は平成28年2月末。田中さんは、「できあがったら、まちに住むいろんな人と公園でふれあいたい」と期待に胸を膨らませている。